

南箕輪村むらづくり委員会（第3回）会議次第

平成29年10月18日（水）

午後7時～ 役場講堂

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

① 南箕輪村創生総合戦略の検証の進め方について

② 南箕輪村創生総合戦略の数値目標の検証について

③ その他

4. その他

次回会議日程 月 日（ ） 時から

5. 閉 会

村創生総合戦略の検証の進め方について

南箕輪村創生総合戦略の効果検証については、その妥当性・客観性を担保するため、外部有識者等の参画を得て行うと明記している。

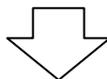
外部有識者等の参画 ⇒ むらづくり委員会

<むらづくり委員会で調査・審議する項目>

- 平成 28 年度における数値目標（KPI）に対する結果の検証
- 村創生総合戦略に掲げる施策等の見直しの必要性の確認

○平成 28 年度における数値目標（KPI）に対する結果の検証

1. 平成 28 年度における数値目標（KPI）に対する結果の確認
 - ・平成 28 年度末の達成値
 - ・担当課での数値目標の進捗状況の判定
 - ・上記進捗状況で「C」「D」と判定した項目及び達成率が 40%未満の項目の原因・理由
 - ・上記理由・原因に対する今後の対応状況
2. 数値目標達成に向け平成 28 年度に実施した事業の確認
 - ・事業担当からの説明 ⇒ 進捗状況の判定にかかわらず簡潔に説明を受ける



○村創生総合戦略に掲げる数値目標等の見直しの必要性の確認

今後の想定スケジュールについて

会議資料1-2

第4期むらづくり委員会の「村創生総合戦略」に関するスケジュール

年度	平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度		
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
村創生総合戦略の検証、見直しの検討			・村創生総合戦略の検証 ・見直しの検討				・村創生総合戦略の検証 ・見直しの検討				・村創生総合戦略の検証 ・見直しの検討		任期終了		

平成29年度の「村創生総合戦略」に関するスケジュール

項目	年度 月	平成29年度							平成30年度	
		10	11	12	1	2	3	4		
委員会		★	★	★	★	★	★		★	
目標数値(KPI)の検証		←			→					
KPI検証を踏まえた村創生総合戦略の協議				←				→		
各課からの施策等の修正						↔				
村創生総合戦略の検証の答申							↔			
【改訂の場合】村創生総合戦略の改訂版公表								↔		

会議の進捗状況によっては、会議回数は増減

A:順調
B:概ね順調
C:努力を要する
D:改善・対策要

↑
⇒ 達成率40%未満

※担当課としての判定

基本項目	施策・数値目標項目	単位	目標値 (H31)	基準値 (H25)	達成値 (H29.3.31)	進捗状況の判定	達成状況 (H29.3.31)	原因・理由 (達成率40%未満、又は進捗状況の判定「C」「D」)	原因・理由に対する今後の対応方針	事業内容 (H28)	事業費 (H28)	担当課名	
1	製造品出荷額等(4人以上の事業所)(11頁)(※1)	億円	627	596.8	689.8	A	307.7%					産業課	
2	事業所数(事業内容不詳を含む)(11頁)(※1)	-	631	622	614	C	-88.9%	上伊那の経済状況や景気動向などから、村内での企業立地や起業まで至っていない状況です。	工業団地の設置や融資・補助金制度の充実、商工会と連携した創業支援を行っていきます。			産業課	
3	従業者数(村内企業の従業員数)(11頁)(※1)	人	6,840	6,807	6,893	A	260.6%					産業課	
4	①商工業・サービス業の進行による雇用の創出(12頁)	企業振興補助金交付事業所数(※2)	社	15	12	17	A	166.7%				産業課	
5		村・県制度資金申請件数(※2)	件/年	80	73	77	B	57.1%				産業課	
6	②魅力的な農業経営の確立(13頁)	耕作放棄地面積(※4)	ha	9.0	11.1	13.1	C	-95.2%	①解消につながる農地がある一方、新規発生農地が増加しているため。②相続により遠方に居住する方が農地を相続するケースが増加しているため。と考えられます。	農業委員による戸別訪問を引き続き行うなど、粘り強く対応いたします。			農業委員会
7		効率的経営体が地域の農用地に占める面積のシェア	%	64.0	57.0	60.3	B	47.1%					産業課
8		認定農業者数・認定新規就農者数	人	52	45	47.5	B	35.7%	高齢のため、認定農業者から外れた方が想定以上にいたためと考えられます。	関係機関(JA、県、普及センター)と連携しながら、新規認定就農者の発掘確保に努めます。			産業課
9	③移住者や女性の就業支援(14頁)	就労情報へのアクセス数	件	200		4,942	D	2471.0%	上伊那地域の就労情報を掲載したサイトを開設したところ、予想を超えるアクセス数となったため、目標値とのかい離が生まれました。	事業については上伊那地域に興味があるため、アクセス数があると判断でき、効果があると認められることから、引き続き、上伊那地域への就職、定住に結びつくよう取組ますが、目標値の設定については改善が必要かと考えています。	①若者回帰・定住増進支援 ・地元回帰就職セミナー ・都市圏発の地元企業体験訪問バスツアー ・学生を持つ親向けセミナー	①13,392千円	地域づくり推進課
10		就労に必要な学習会の開催数	回	4		3	B	75.0%					地域づくり推進課
11		女性のための研修制度開催数	回	2		2	A	100.0%			①子育て女性再就職トータルサポート事業 ・女性就業支援トータルアドバイザー設置 ・就職前の準備セミナー ・就職前後のサポートプログラム実施	①5,940千円	地域づくり推進課
12	住民基本台帳人口(15頁)(※3)	人	15,323	14,890	15,330	A	101.6%					住民環境課	
13	①安全で快適な住宅・住環境づくり(16頁)	下水道普及率	%	99.9	99.8	99.8	A	0.0%	小数点以下の計算上、達成状況は数値に表れていませんが、実質46.6%となり、順調な進捗状況といえます。	今後も引き続き下水道の普及に努めてまいります。			建設水道課
14		水洗化率	%	93.0	84.5	88.5	B	47.1%					建設水道課
15		南箕輪村公園施設長寿命化計画による大芝公園施設整備課所数	箇所	10		3	A	30.0%	計画期間内で順次整備しています。計画どおりの進捗となっております。	南箕輪村公園施設長寿命化計画に従い、老朽化施設について順次更新・整備してまいります。			建設水道課
16		市民農園面積	m ²	2,800	2,167	2,717	A	86.9%					産業課

基本項目	施策・数値目標項目	単位	目標値 (H31)	基準値 (H25)	達成値 (H29.3.31)	進捗状況 の判定	達成状況 (H29.3.31)	原因・理由 (達成率40%未満、又は進捗状況の判定「C」「D」)	原因・理由に対する今後の対応方針	事業内容(H28)	事業費(H28)	担当課名	
17 (2)若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり	②村内移住・定住・若者帰郷の推進(17頁)	移住、定住情報へのアクセス数	件/年	400		0	B	0.0%	平成28年度末に移住定住サイトの整備が完了し、平成29年4月からの運用のため、平成28年度末の達成値は0件となっています。	平成29年9月末現在で1,900件のアクセスがあり、順調に推移していますので、引き続き、情報を定期的に更新し、移住定住につながるよう努めていきます。	①「信州・上伊那」の地域力向上推進事業のうち関連事業 ・移住定住促進サイト作成 ・移住定住促進パンフレット作成 ・移住定住促進プロモーションビデオ作成	①3,384千円	地域づくり推進課
		転入に伴う1戸建世帯の区への加入率	%	90.0	89.0	89.7	A	70.0%					総務課
	③南箕輪の魅力開発とブランドづくり(18頁)	観光PRイベント開催数	回/年	15	11	13	B	50.0%					産業課
		大芝高原の利用者数	人/年	620,000	616,435	556,714	C	-1675.2%	大芝の湯の利用者が年々減少傾向にあります。原因としては、大芝の湯新設以来15年が経過し、施設の老朽化やマンネリ化による減少が考えられます。	大芝高原へのさらなる誘客、大芝の湯を利用したイベントの開催や接客対応、施設のリニューアルについても検討していく必要があります。			産業課
		経ヶ岳・権兵衛峠の登山者数	人/年	6,000	3,500	4,200	B	28.0%	平成27年度からパーティカルリミットを開催しており、徐々に認知度は上がっていると認識しています。	パーティカルリミットの開催や経ヶ岳・権兵衛峠の紹介ビデオ、経ヶ岳ガイドブック等を有効に活用して、PRに努めます。			産業課
		「ふるさと名物」商品化件数	件	2		4	A	200.0%					産業課
23	合計特殊出生率(20頁)		-	1.69	1.64	-	-					地域づくり推進課	
24 25 26 27 28	①妊娠出産・子育て支援の充実(21頁)	妊娠、出産、育児に関する相談・支援回数	回/年	130	120	136	A	160.0%			①乳幼児健診・相談 3か月、10ヶ月、1.6歳、3歳児健診 7か月、1歳、2歳児相談	①14,177千円 ②4,025千円 ③4,459千円 ④1,437千円	健康福祉課
		乳幼児健診受診率	%	96.0	95.9	98.0	A	2100.0%			②要支援親子事業(ステップ教室) ③育児相談 ④マタニティスクール		健康福祉課
		登下校見守りボランティア実施回数	回/年	20	10	13	C	30.0%	南箕輪小学校の既存組織「まっくん見守り隊」が十分に機能していないためと考えられます。	信州型コミュニティスクールなどと併用して実施を増やしていきます。	通学路における交通安全指導や見守り活動	—	教育委員会
		保育園での絵本借用率	%	100		100	A	100.0%			①H27年度 保育園絵本読み聞かせ推進事業 ・絵本、絵本棚、収納ボックスを各保育園に配置 ・保育園での読み聞かせや読み聞かせを通じた交流の機会づくりを実施	①6,000千円(H27)	子育て支援課
		出会いイベントの開催数	回/年	4	2	2	B	0.0%	平成28年度に元気づくり支援金事業を活用し、出会いイベントを開催しました。平成29年度以降についても計画的に実施予定としています。	元気づくり支援金事業を活用し、大芝高原を活用した婚活イベントを平成29年度に2回実施し、村社協との活動と合わせて3回となる予定です。それ以降も目標値に向け、継続して出会いの場を提供していきます。	①芝コンの開催 ・スラックライン、ヨガ、フリータイム	①576千円	地域づくり推進課
		29	(3)安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり	体験学習実施時間数(小中学校平均)	時間/年	40	27	44.3	A	133.1%			総合学習、探求学習により、自然学習などを体験
30	キャリア教育・郷土教育実施時間(小中学校平均)	時間/年		20	15	23.3	A	166.0%			①キャリア教育推進事業 ・職業理解事業 ・お仕事図鑑 ・授業プログラム立案等 ・アントレプレナーシップ教育	①3,357千円	教育委員会
31	信州型コミュニティスクール実施学校数	校		3		2	B	66.7%			信州型コミュニティスクール活動	—	教育委員会
32	②教育の充実(23頁)	わくわくクラブ会員数		人	1,500	1,441	1,426	B	-25.4%	中学校の部活がわくわくクラブに所属しているため、中学校の生徒数の増減によりわくわくクラブの会員数も左右されてしまうと考えられます。	引き続きわくわくクラブと協議し会員数増加の広報に努めてまいります。	①社会体育事務 ・スポーツイベント ・市町村・郡等競走大会関連 ・外郭団体への参加及び運営協力 ・NPO法人南箕輪わくわくクラブの支援 ②村民体育館管理事務 ・指定管理委託 ・わくわくクラブ等の年間使用調整と使用台帳作成 ・施設整備支援	①9,597千円 ②6,610千円

基本項目	施策・数値目標項目	単位	目標値 (H31)	基準値 (H25)	達成値 (H29.3.31)	進捗状況 の判定	達成状況 (H29.3.31)	原因・理由 (達成率40%未満、又は進捗状況の判定「C」「D」)	原因・理由に対する今後の対応方針	事業内容(H28)	事業費(H28)	担当課名	
33	スポーツ施設利用者数	人	121,600	118,261	126,044	A	233.1%			①社会教育関係団体登録事務 ・スポーツ施設年間使用の調整 ②村民体育館管理事務 ・指定管理委託 ・わくわくクラブ等の年間使用調整と使用台帳作成 ・施設整備支援 ③学校体育施設開放事務 ・わくわくクラブ等の年間使用調整と使用台帳作成 ・施設整備支援 ④大芝公園管理事務 ・指定管理委託 ・施設等の整備支援	①262千円 ②6,610千円 ③262千円 ④93,118千円	教育委員会	
34	①自然災害に強い地域づくり (27頁)	防災に関する出前講座の開催数	回/年	8	2	2	D	0.0%	区や自主防災等から出前講座の依頼が少ないのが現状です。もう少し防災意識の向上を図る必要があります。	防災意識の向上を図るため、平成28年度は防災フェスを実施しました。今後も避難所運営に関する研修講座やADE研修 消防団や防災士と取組みます。		総務課	
35		防災士養成人数	人	18	13	19	A	120.0%				総務課	
36		避難所の耐震化率	%	100	96.0	96	C	0.0%	村公民館のみ耐震化が未着手の状況です。	担当部署への予算措置をお願いしていきます。		総務課	
37		除雪ボランティアの登録者数	人	140	110	132	A	73.3%				建設水道課	
38	(4)誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり ②参画・協働の推進のコミュニティの推進 (28頁)	地域見守りたい員(仮称)等のメール配信登録者数	人	100		483	A	483.0%			①H27年度 水道メーターの電子メーター化による無線検針による検針業務の効率化と水道の障害情報を自動で水情報配信メール等に送信する機能を導入 ・過大流水や未使用を検知し、生活の見守りが必要な世帯の異常を速やかに把握する機能の利用検討 ②高齢者の生活支援事業 ・訪問理美容費用助成・福祉用具貸与・特殊車両利用助成・緊急時の通報体制 一人暮らし台帳の整備・住宅改良・介護サービス利用者負担額軽減・ボランティアによる生活支援・運転免許返納者にまっくんバス回数券交付 H28は水道の使用状況で高齢者の方の見守りができるシステムについて検討をはじめた。緊急通報システムと連携をしていくことを現在検討中。	①12,874千円 (H27) ②7,914千円	健康福祉課
39	③自然環境に育まれるむらづくり (29頁)	学校教育での自然学習時間(小中学校平均)	時間/年	30	25	11.7	C	-266.0%	時間構成が学習実態とそぐわない部分があります。	新学習指導要領を含め、学校運営を検討していきます。	探求学習により、自然学習などを体験	—	教育委員会
40		河川愛護活動の実施回数	回	12	11	11	A	0.0%	今後達成できると考えられます。	今後も目標値に向け継続して活動を増やすように促していきます。		建設水道課	

※1 達成値(H26確報値)

※2 基準値(H26)

※3 目標値(H32)

※4 数値が低くなることを目標値としている項目